

**SPANCRETE**

CORPORATION

株式会社スパンクリートコーポレーション

平成17年9月中間期業績資料





# 会社概要及び沿革

## < 会社概要 >

本 社	東京都文京区本郷四丁目9番25号
営業所	宇都宮営業所 仙台営業所
工 場	宇都宮工場 岩瀬工場 熊谷工場 (プレテック株)
設 立	1963年3月
資本金	32億9,582万2,500円
従業員	149名
事業内容	スパンクリート事業 不動産事業

## < 沿 革 >

63年 3月	設立 資本金1千万円 商号 スパンクリート製造株式会社
64年 2月	宇都宮市に生産設備完成 営業開始
83年 3月	スパンクリート合成床工法 販売開始
89年1 1月	茨城県岩瀬町に岩瀬工場完成
91年 2月	社名を現社名に変更
91年 9月	株式を公開日本証券業協会店頭登録 ( J A S D A Q )
04年 3月	明星プレテック株 ( プレテック株に社名変更 ) を子会社に
05年 5月	宇都宮工場・岩瀬工場・設計部 ISO9001取得



# 工場

## 宇都宮工場

生産能力 月産約55,000m<sup>2</sup> (18,608坪)



## 岩瀬工場

生産能力 月産約10,000m<sup>2</sup> (19,638坪)



## プレテック(株) 熊谷工場

生産能力  
月産約13,000m<sup>2</sup>  
(15,681坪)





# 所有賃貸ビル

台東区  
台東オリエントビル



8階建 1,466.4㎡

新宿区  
30山京ビル



8階建 1,887.1㎡

文京区  
駒込スパンクリートビル



9階建 1,621.5㎡



# 八丁堀四丁目分譲マンション (12月竣工予定)





# 経営成績の概要

当中間連結会計期間の当社グループの業績は、売上高が22億5千2百万円(前年同期比15.1%増)と増収になりました。収益については、本業のスパンクリート事業が、前期からの課題であります原材料費アップの销售价格への転嫁が浸透せず苦戦を強いられていたこともあり、営業利益は6百万円(前年同期営業損失6千万円)と低水準になりましたものの、経常利益は余資の運用益等も寄与し7千9百万円(前年同期比672.2%増)、中間純利益は、役員退職慰労金の廃止に伴う引当金の一部取崩し益の計上もあり7千3百万円(前年同期中間純損失3百万円)と増益になりました。

## スパンクリート事業

工場の生産コスト低減には一定の成果は挙げたものの、原材料費の価格上昇分の销售价格への転嫁が進まず、結果として低粗利物件を多く手掛けることになったため、売上高21億2千7百万円(前年同期比16.7%増)、営業損失5千6百万円(前年同期営業損失1億2千4百万円)となりました。

## 不動産事業

賃貸ビルの稼働状況は引き続き高水準を維持しているものの若干稼働率が減少したため、売上高1億2千5百万円(前年同期比6.4%減)、営業利益6千9百万円(同1.6%減)となりました。



# 生産・出荷・売上 数量比較

単位: 千m<sup>2</sup>

	04年9月中間期	05年9月中間期	増減
生産	192	300	108
出荷	175	290	115
他社仕入出荷	37	67	30
売上	276	362	86

(注) 子会社プレテック(株)からの仕入売上が含まれています。



# 主要工事実績

トーハン桶川新築工事	48,000	m <sup>2</sup>
パークシティモアナヴィラ新浦安	34,000	m <sup>2</sup>
ガレリアグランデ新築工事	32,000	m <sup>2</sup>
プラウドシティ東林間	15,000	m <sup>2</sup>
長野電子工業(株)千曲工場	11,000	m <sup>2</sup>
クリオレミントンハウス知事公館前新築工事	10,000	m <sup>2</sup>
パレステュディオ西新宿7丁目新築工事	8,500	m <sup>2</sup>
日本化薬統合研究棟建設工事	6,800	m <sup>2</sup>
(株)東京インテリア家具鹿沼新物流センター	6,700	m <sup>2</sup>



# 連結中間営業成績及び財政状態

		04年9月中間期	05年9月中間期	増 減
営業成績	売上高(百万円)	1,956	2,252	296
	営業利益(百万円)	60	6	66
	経常利益(百万円)	10	79	69
	中間純利益(百万円)	3	73	76
	1株当たり中間純損益(円)	0.88	18.88	19.76
財産の状況	総資産(百万円)	10,646	10,573	73
	純資産(百万円)	7,890	8,084	194
	1株当たり純資産額(円)	2,088.92	2,068.59	20.33
	自己資本比率(%)	74.1	76.5	2.4
	営業キャッシュフロー(百万円)	221	6	215
	投資キャッシュフロー(百万円)	163	188	25
	財務キャッシュフロー(百万円)	229	54	175
	現金同等物残高(百万円)	2,017	1,728	289



# 比較中間連結損益計算書

単位:百万円

	04年9月中間期	05年9月中間期	増減	摘要
売上高	1,956	2,252	296	売上数量が前期比31%増加しました
売上原価	1,702	1,954	252	
一般管理販売費	313	292	21	
営業利益	60	6	66	
営業外収益	82	96	14	余資運用の収益が好調でした
営業外費用	11	23	12	
経常利益	10	79	69	
特別損益		64	64	役員退職慰労金制度の廃止に伴う引当金の一部取崩し益を計上しました
税引前中間純損益	10	144	134	
法人税・住民税	1	6	5	
法人税等調整額	12	63	51	
中間純損益	3	73	76	



# 比較中間連結貸借対照表(資産)

単位:百万円

	04年9月中間期	05年9月中間期	増減	摘要
流動資産	4,342	4,388	46	
現金及び預金	1,403	1,274	129	
売掛債権	962	1,513	551	手形は全て期日取立てしております
有価証券	734	454	280	
棚卸資産	1,151	1,013	138	
その他	92	134	42	
固定資産	6,303	6,184	119	
有形固定資産	4,826	4,885	59	
建物・機械	1,669	1,688	19	
土地	3,114	3,162	48	02/3期に土地の再評価を行っています
その他	43	33	10	
無形固定資産	76	58	18	
投資その他	1,400	1,241	159	
投資有価証券	825	938	113	
その他	575	303	272	05年3月期四日市土地(日本プレキャスト株)の担保処分が終わりましたので減少しました
資産合計	10,646	10,573	73	



# 比較中間連結貸借対照表

## (負債・資本)

単位:百万円

	04年9月中間期	05年9月中間期	増減	摘要
<b>流動負債</b>	2,097	1,933	164	
買掛債務	176	203	27	支払手形は発行していません
短期借入金	1,357	1,357	0	
未成工事受入金	327	104	223	未成工事が減少しております
その他	237	269	32	
<b>固定負債</b>	657	555	102	
長期借入金	85	28	57	約定返済により減少しています
その他固定負債	572	527	45	
<b>負債合計</b>	2,755	2,488	267	
<b>資本の部</b>	7,890	8,084	194	
資本金	3,268	3,295	27	ストックオプションの行使があり、増加しました
資本剰余金	3,629	3,657	28	
利益剰余金	1,001	1,108	107	
土地再評価差額金	172	172	0	02/3期に土地の再評価を行っております
株式等評価差額金	89	127	38	株価の上昇等により増加しました
自己株式	270	278	8	自己株式を約5.9万株保有しております
<b>負債・資本合計</b>	10,646	10,573	73	



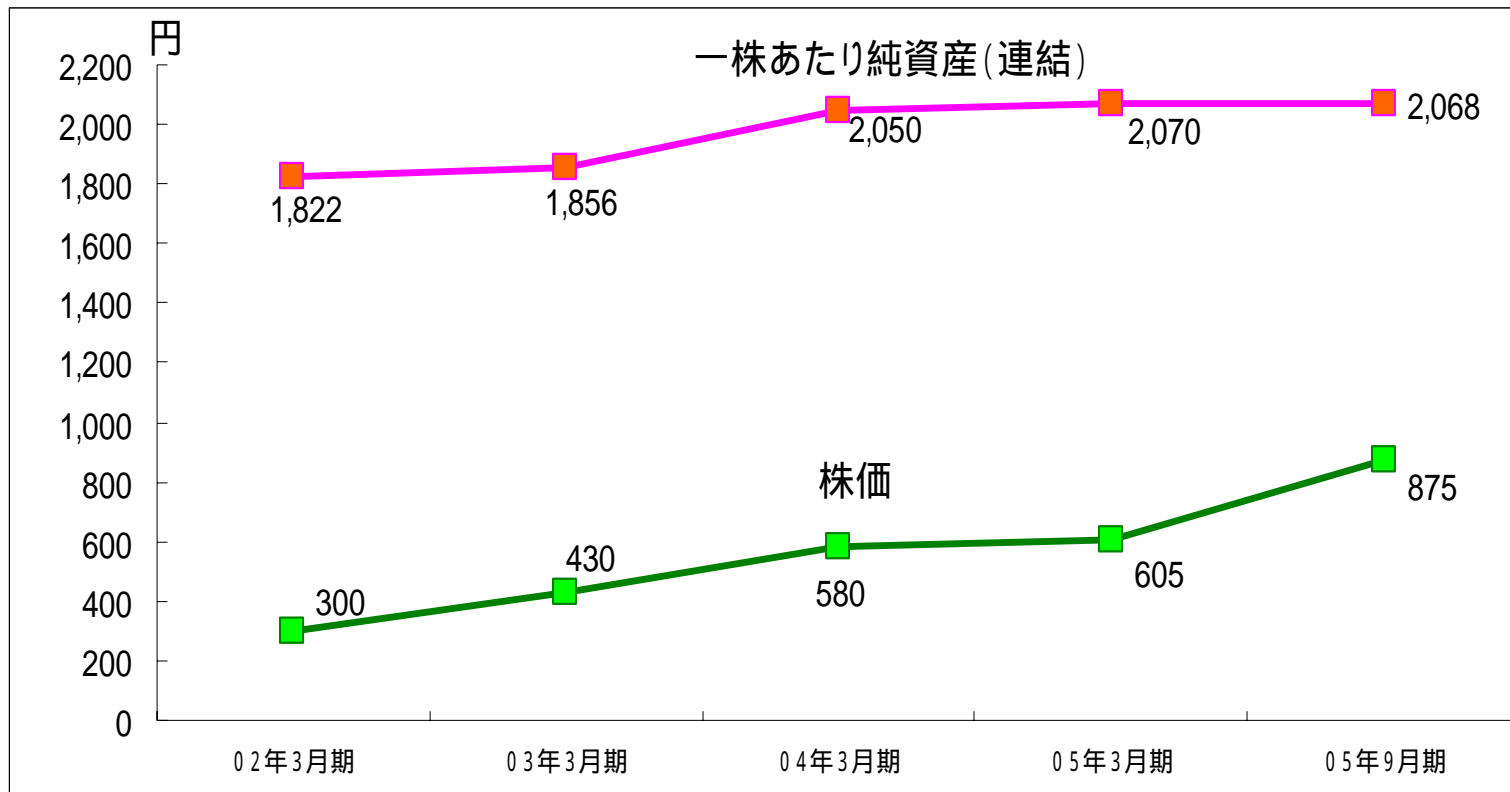
# 中間連結事業別概況

単位：百万円

部門		04年9月中間期	05年9月中間期	増減
スパンクリート事業	売上高	1,821	2,127	306
	営業損益	124	56	68
不動産事業	売上高	134	125	9
	営業損益	70	69	1
合計	売上高	1,956	2,252	296
	営業損益	60	6	66



# 一株あたり純資産と株価推移





# 06年3月期見通し

単位:百万円

	06年3月期見通し
売上高	6,000
経常利益	330
当期純利益	230

スパンクリート事業・・・引き続き原材料費等の値上げ圧力はあるものの、製品価格改定のある程度の浸透と生産性の向上等により採算性の改善が漸進するものと考えております。

不動産事業・・・・・・安定的な賃貸ビル収入に加え、建設中の八丁堀の分譲マンションが竣工し収益への貢献が見込まれております。

